

事業所名

くれよん

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6年

12月

15日

法人（事業所）理念	共に支え合い、励まし合いながら利用者が愛される心豊かな人生を送れるために生きる力を身につけることを目指します。		
支援方針	利用者の発達に応じた支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供しています。 また、ご家族への相談援助や、関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行えるよう努めています。		
営業時間	平日	14時30分から	18時00分まで
	学校休校日	10時00分から	16時00分まで
		送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気づけるよう観察を行い、意思の表現が難しい方には表情や普段と違う様子を確認しながら健康管理を行います。 ・来所持の身辺処理（靴の用意や着脱、手洗い消毒、連絡帳の提出、荷物の整理など）を利用者に合わせ実施し、習慣化できるように支援します。 ・食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるように決まった時間での誘導と支援を行います。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動にて、運動やダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。 ・集団活動や制作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 ・ダンスや音楽療法を取り入れることで、リズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことでこだわりや忌避感（人物・物事を嫌い、避けたいと思う感情）を軽減できるように支援します。 ・日常生活の中で自由な遊びや会話、活動の場面を通じて利用者の言葉やコミュニケーション能力を引き出すための経験を積み重ねることを大切にしながら支援します。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性に応じた課題を決め、読み書き能力の向上を図ります。 ・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入って援助、支援します。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と利用者との良好な関係形成を図ります。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、協調した関わりを持てるように支援します。 ・他者との適正な距離感を把握ができるように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。 	
家族支援	連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談等をするばを設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。	移行支援	学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り支援します。
地域支援・地域連携	他事業所などとも協力し合い、地域との交流の機会を提供します。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議実施 ・虐待等の研修実施 ・研修会の参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日、長期休暇中のお出かけ活動、手作りランチ、手作りおやつ ・誕生日会 ・夏祭りやクリスマス会など、季節ごとのイベント 		